令和8年10月21日

有機フッ素化合物（PFOS及びPFOA）の測定結果（合算値）

本市では、水道水の原水（淀川水、地下水）、浄水所で水処理を行った後の浄水、管末水（じゃ口から出る水道水）の水質測定を行い、各時期の結果を評価するとともに、濃度変化の有無を確認しています。
これまでの測定の結果は、時期によって多少のばらつきがありますが、PFOS及びPFOAの合算値はいずれも10ng/L程度で推移し、国が定めた基準値（50ng/L）を下回っています。
また、明らかな濃度上昇は認められません。安心して水道水をご利用いただけます。

・1 ng/L：水1リットル中、10億分の1グラム
・暫定目標値：毎日2リットルの水道水を一生飲み続けても健康への悪影響が生じないと考えられるレベル

（単位：ng/L）

測定時期	泉浄水所			片山浄水所			津雲配水場管末水※2	蓮間高区管末水※2
	淀川原水	浄水	管末水	地下水原水	浄水※1	管末水		
令和8年4月	9	7	6	9	9	9	8	7
令和8年5月	13	13	8	12	9	11	9	8
令和8年6月	9	7	7	9	8	8	7	7
令和8年7月	6	5	6	8	8	8	11	12
令和8年8月	8	6	7	9	9	9	11	10
令和8年9月	8	6	5	6	9	8	9	9

※1　片山浄水所浄水と大阪広域水道企業団の水を混合した水道水です。

※2　大阪広域水道企業団（原水は淀川水）から送られてくる水道水